



磯部 亜希 議員

公共交通を未来に残していくために

問 利用促進に向けた対策は

考えているのか

答 来年度、バス等利用促進のための無料デーを創設する取り組みを考えています。

か。利用促進に向けた対策は考えているのか。

答 都市整備部長

令和元年度と令和2年度を比較すると、概ね2割程度減少しています。バスに乗る体験をしていただいて利用促進に繋がるよう、来年度、バス等利用促進のための無料デーを創設するなどの取り組みを考えています。

問 予約乗合タクシーの予約を

電話のみではなく、スマートフォンやパソコンからもできるようにしてもらえないか。

答 都市整備部長

運行上、オペレーションにおけるシステムの構築やメール等の運行直前の確認・不到達による利用者とのトラブルになる可能性があることから、電話による受付しかできないものとされています。

その他の質問

●高島リビング・シフト構想について

問 運転免許証を自主返納された方へ、公共交通の利用につながるよう、バス・タクシーの回数券を交付してはどうか。

答 都市整備部長

運転免許証自主返納高齢者支援制度として、バス回数券を交付している自治体もありますが、市では現在行っておりませんが、必要および周辺自治体の状況を注視してまいります。

問 コロナ禍でJRRやバス利用者

はどれくらい減少したのか。

た、勉強会の開催については、便利でお得な情報や予約乗合タクシーの利用方法を説明する出前講座を区長会等で案内し、ご要望に応じて対応しています。

問 区長会での案内だけでなく、周知についてももう少し工夫

をしようか。

答 都市整備部長

広報たかしまやホームページ等への掲載についても考えてまいります。

問 免許を返納された方で、バスの乗り方がわからない方の把握はされているのか。自分の地域、状況に合った乗り方の勉強会を行ってはどうか。

答 都市整備部長

アンケート調査では、バス等の乗り方などについてわからない方も一定数おられますので、毎年広報たかしまで周知に努めています。一方県では交通事業者等と協力し、公共交通を身近なものと感じてもらつたため、交通環境学習で各学校や幼稚園等を取り組みの啓発を行っています。ま